

発行：東京都港区虎ノ門
2-10-1 虎ノ門ツインビルデ
ィング西棟4階
富士通虎ノ門オフィス内
Mail: icscp@nifty.jp Ver. 2
2014年9月30日(火)No. 018

ICSGP 産応協ニュース <第18号>
スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)
Industry Committee for Super-Computing Promotion

シンポジウム準備委員会第1回開催(9/5)

本年度は、第7回スーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウムの開催を平成26年12月10日(水)で、企画立案、運営実施に関わる準備を進めるため、第1回シンポジウム準備委員会を平成26年9月5日に行った。

前回の実施経過と結果を踏まえて、さらに新しい内容の血用船・調整を委員からの提案により実施計画をとりまとめた。議事は次の通りである。

1. 開催日及び会場について

都内の主だった会場候補のリストアップを行うとともに、集客数並びに併設する諸条件の対応、費用等を鑑みて、予定日ではなかなかとりにくくなっており、要望する条件を満たすものとしては数件だけの候補となるので、それぞれ会場の下見を進め、早急に絞り込み決定を行うこととした。

2. タイムスケジュール概略

前回(6回)の経過実績に基づき、今回の実行に向けたタイムスケジュール概略について確認を行った。

3. シンポジウムのメインテーマについて

過去の実施経過と合わせて、シンポジウムのメインテーマを示すこととし、具体的な候補を上げて委員各位からの意見を頂くこととした。

4. 企画案

開催日：平成26年12月10日(水)13:00~17:30とし、終了後引き続き懇親会予定し、情報交流を促進する。

場 所：早急に決定が必要のため、いくつかの候補の会場下見を行い、評価結果を報告し決定する。

同日併行行事としては、同場所にて第15回運営委員会・総会を開催する。

また、過去に実施したシンポジウムの開催内容を吟味した結果、「京」スパコンの嘉づ等2年目を迎えて、久しぶりにパネルディスカッションによる方法で、利活用の環境変化にあった企画立案を目指すこととした。

主 催：スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

共 催：一般社団法人日本経済団体連合会

後 援：文部科学省、経済産業省

協 賛については、前回同様の機関に依頼することとした。

基調講演は、有識者にお願ひし、合わせてパネルディスカッションを今回新たに企画し、テーマとパネリスト候補の選定を進めることとした。

シンポジウム開催の目的は、産応協の活動を広く周知を図ることと、HPC利活用の啓発と合わせて、参加される方にとって興味深い話題、課題等を共有することで、活動の活性化、新規会員の勧誘に役立てたいということである。

また、前回実施した事例紹介については、少し違った角度からの試みとして、「何故HPCの利活用が必要なのか？」の観点から誰でもがわかり易く、理解できることを前提とし、聴講者の視点からの内容を目指すこととした。もちろん参加者は、誰でも参加

できる幅広いものとするのと、新規会員への啓発とインパクトを図る点にもあることとした。

第11回実行委員会開催(9/10)

・シンポジウム準備委員会第1回開催報告

本年度は第7回スーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウム開催を平成26年12月110日(水)に決定し、企画立案のための準備スタートを行った。

・HPCものづくりワークショップWGの提案

ベンチマークテスト整備作業を委託し、作成された具体的な成果物に対する産応協正会員間の利便性を図るための共有する利活用できるガイドラインを構築する。

・HPC オータムスクールの開催案内の確認

今回は、企画委員会と実行委員会による合同合宿して「産応協ビジョン」を討議してまとめることとする。

・第30回スパコンセミナー開催企画立案の確認

開催日を平成26年10月22日(木)とし、テーマは「光材料(当初はLED材料)」とした。

・課題事業活動の実施状況の確認

-国内外事例調査収集委託調査

国内事例調査はFOCUS等で具体的にまとめられているので、これらを積極的に活用することとした。海外事例調査は新たに整理する必要があると、本年度は外部専門調査機関に委託し成果を上げることとした。⇒中間報告では、当初予定外の事例が少ない結果となったので、違った観点からの調査絞り込みと指導等を行いつつ、まとめることに努めた。このため、当初予定していた第2ステージで行う具縦的な事例へのヒアリング調査は中止することとした。

-アンケート調査

前年度に引き続いて、HPC利活用に対する定点観測から調査内容案を作成した。また、回答数を多く集める(幅広い分野からの意見、提案を収集する)ことを目指して、関係機関との協力と支援を得ることとした。

-産業利活用のビジョン策定とロードマップ整備等に関する調査

「産応協ビジョン」の提案については、オータムスクールでの討議結果を含めて、WGを開催して具体的な検討整理を行うこととした。

-中小企業シミュレーション活用・人材育成施策の推進に関する調査

第1回「中小企業シミュレーション技術交流会」開催に向けての企画立案を長野県工業技術総合センターの協力支援を得て行うこととした。

-戦略シミュレーションソフトウェアの利活用モデル研究に関わる調査

関係者との連携を図るための検討を進めた。

HPC オータムスクール 2014 開講報告(9/19-20)

—産応協の将来のために—

本年度のHPC オータムスクール2014(第2回)は、新生・産応協2年目の大きな課題になっていることとして、かねてより取り組まなければならない大きな課題になっている産応協の今後の活動のあり方等を含め、新旧委員間の相互の交流と情報共有の徹底化が必要になっているため、今後の活動の基盤強化を目指した討議を積極的に展開しました。

とくに産応協の活動を支えてきた方々に産応協の来し方行く末を語って頂くとともに、最近の「京」及びポスト「京」の進捗状況の確認を行い、これをもとに企画委員、実行委

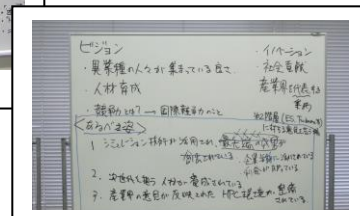
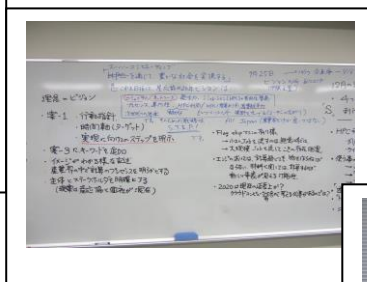
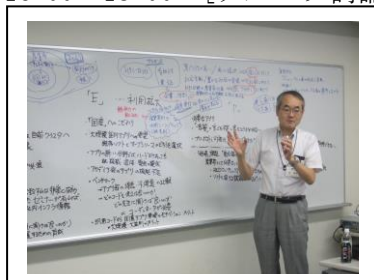
員の全体を数グループに分け、徹底的に議論できる環境を整えたのちに、産応協かくあるべしの議論を行いました。

その結果として、スクールの最後の全体会議では、それを共有する時間を設け、今後の産応協の活動に反映させるとともに、本年12月に開催する第7回シンポジウム等で外部に発信するシーズとしてまとめてみることにしました。

1. 主催 : スーパーコンピューティング技術産業应用協議会(産応協)
- 共催 : 東京大学生産技術研究所 革新的シミュレーション研究センター
2. 開催日時 : 平成25年9月19日(金)～9月20日(土)
3. 開催場所 : 多摩永山情報教育センター
4. 募集人数 : 23名(産応協企画委員及び実行委員)
5. プログラム : HPC産業利用オータムスクール プログラム概要

9月19日(金) <1日目>

- ① 13:00～13:10 オリエンテーション(参加者自己紹介、1日目の進め方説明)
- ② 13:10～14:00 [講演]
産応協の思いの丈を語る/産応協の活動検討の軌跡から
- ③ 14:00～16:00 [講義]
「京」の最新情報や「ポスト京」の情報共有
・「京」の運用と利用実態(仮)
・ポスト「京」の検討状況(仮)
- ④ 16:00～18:00 [グループ討論①]



- ⑤ 18:00～19:30 夕食、休憩
- ⑥ 19:30～21:00 [グループ討論②]
産応協に期待することを中心に、各委員の意見表明と共有

9月20日(土) <2日目>

- ① 8:30～8:40 2日目の進め方説明
- ② 8:40～10:10 [グループ討論内容の紹介]
- ③ 10:10～10:30 休憩
- ④ 10:30～12:00 総合討論
グループ討論内容を下敷きに、全体での討論を通じて産応協活動の方向性を見出す。
- ⑤ 12:00～12:30 昼食
- ⑥ 12:30～13:30 オータムスクール総括、解散

タスクフォース開催<第6回>報告(9/11)

文部科学省の検討委員会で取りまとめた成果報告以後の関連機関の対応状況と産応協が果たすべき対応について、検証を行うとともに、今後の取り組みについて確認を行った。

いままでのTFで出てきた意見は、多岐にわたっており、すべてを盛り込んだ提言にすることは無理があるので、今回は産業界が求めるHPCIの第2階層のあり方に関するイメージ

についてタスクフォースにおいてとりまとめを行い、関係機関と連携・協調を進めて、具体的な提言に結びつけることを目指すこととした。

- (1) HPCI コンソーシアムとの連携による産業界の要望展開
- (2) AICS 内産業利用サブワーキングに向けての提案
- (3) 省庁間の枠組みを超えた提案

「産業基盤シミュレーションソフト調査プロジェクト立ち上げ準備作業」への参加について(案内)

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)では、「産官学連携による産業基盤シミュレーションソフトの開発とその利用技術の確立に関わる調査プロジェクト」(産業基盤ソフト調査プロジェクト)の立ち上げを産業基盤ソフト検討チーム(滝本主査)において計画を進めている。このため、本プロジェクトの主旨に賛同し、立ち上げの準備作業に参加いただける企業または企業団体を募っている。(2014. 8. 28 付)

1 「産業基盤ソフト調査プロジェクト」の概要

- ・「中長期的に産業競争力の基盤となる、シミュレーションソフトウェア及びその利用技術」について産業界が中心となったコンソーシアムにより調査するプロジェクトである。
- ・実施にあたっては、文科省が計画している、ポスト「京」で重点的に取り組むアプリ開発プロジェクト(重点アプリプロジェクト)の中でアカデミア側と連携し、産業界側のニーズとアカデミア側のシーズのマッチング、実現性検証を行う。2014年度中にプロジェクトを開始し、2~3年の期間を想定する。
- ・調査期間終了後、その成果を評価し、実際のソフトウェア開発、継続的に改良・維持・普及する仕組みの実現に向けてプロジェクトの継続、または新規プロジェクトの立ち上げを狙う。

2 「産業基盤ソフト調査プロジェクト」の立ち上げに向けた準備作業

2.1 準備作業の概要

- ・主旨にご関心をお持ちの、各企業・企業団体に以下の準備作業をしていただき、重点アプリプロジェクトのアカデミア側との連携の可能性、プロジェクト参加への可能性を探る。
 - 調査プロジェクトの対象となりうるテーマ(産業界側のニーズ)の検討
 - アカデミア側パートナー候補とアカデミア側への期待の検討
- ・準備作業は以下の分野に分けて行う。関心のある分野へ参加をお願いする。
 - ①材料・デバイス
 - ②化学
 - ③機械
 - ④創薬・バイオ
 - ⑤防災
 - ⑥エネルギーその他
- ・準備作業期間は2014年9月~10月下旬を想定しています(重点アプリプロジェクトの公募スケジュールに依存して、変更する可能性がある)。

2.2 準備作業後の進め方

- ・準備作業を経て、アカデミア側との合意がとれた分野については、連携して、重点プロジェクトに応募します(サブテーマとしての参加等を想定し、応募作業をアカデミア側と連携して実施)。
- ・準備作業への参加は調査プロジェクトへの参加を義務付けるものではありませんので、準備作業への積極的な参加を期待する。

3 問い合わせ先

3.1 本準備作業に関する、問い合わせ先

- ・スーパーコンピューティング技術産業応用協議会)事務局
電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com

〈〈関連行事のお知らせ〉〉

平成 26 年度一般向けスパコンセミナーの開催

「スーパーコンピュータが拓くわたしたちの暮らし」

開催趣旨

スーパーコンピュータの活用が私たちの暮らしにどのような変化をもたらすか、「京」が兵庫・神戸に設置されたことにより地元どのような影響を与えたかを講演することにより、広く一般県民・市民のスパコン施策への理解増進を図る。

主催 兵庫県、神戸市、計算科学振興財団

共催 理化学研究所計算科学研究機構、高度情報科学技術研究機構、神戸大学統合研究拠点・計算科学教育センター、兵庫県立大学、スーパーコンピューティング技術産業応用協議会、バイオグリッドセンター関西、ひょうご神戸サイエンスクラスター協議会、ひょうご科学技術協会

後援 文部科学省、HPCI コンソーシアム、関西広域連合

日時 2014 年 11 月 29 日（土） 見学会：13:00～13:45、講演会 14:00～17:00

場所 神戸大学統合研究拠点ホール

第 1 回計算科学連携センター学術会議の開催

-兵頭教授追悼記念-

「高分子素材分野における大規模 MD シミュレーション技術の展望」

高分子などの材料分野においては、分子シミュレーションを用いた諸物性の評価を行うことによって、合成する材料構造とそれらから得られる材料物性との関係を把握した材料開発につながるものと期待されています。この分野では、大規模シミュレーション技術とともに、マルチスケール階層間接続方法、粗視化方法などの開発を行いながら、材料開発における具体的な課題に適用することを目指しています。

故 兵頭 志明先生のご遺志を踏まえ、若手が参画した産・学・官や計算科学・計算機科学での連携などで、持続性のある研究協力関係（勉強会等の開催）の構築を目指し、本会議を開催することといたしました。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

開催日時： 2014 年 11 月 4 日（火）-5 日（水）

場所： 兵庫県立大学 神戸情報科学キャンパス 大講義室 （7 階）

主催： 兵庫県立大学シミュレーション学研究所

兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 計算科学連携センター

後援： 兵庫県、FOCUS、分子シミュレーション研究会、RIST、CMSI、理研 AICS※、神戸大学計算科学教育センター※、スーパーコンピューティング技術産業応用協議会※

今後の予定

10/8 実行委員会ビジョン策定/ロードマップ構築 WG(第 2 回)開催

10/21 第 12 回企画委員会開催

10/22 第 30 回スパコンセミナー開催

10/27 シンポジウム準備委員会第 2 回開催

10/27 TF 会議(第 7 回)開催

[産応協事務局]

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 滝口、清

電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com